

20年度 KA教育3D研究会 『公開授業見学会』レポート

公開授業見学会



グループコミュニケーション公開授業
会場:トキワ松学園中学校高等学校
開催:2008年12月3日(水)
公開授業 10:40~12:30
意見交換会 12:30~13:15



トキワ松学園中学校高等学校

メリハリある授業で全てのクラスが 真剣に取り組んでいる姿が プログラムの高い浸透度を感じさせた

PAと3D教育プログラムを同時

に実施する公開授業は初の試み

トキワ松学園中学校高等学校は、“心を育てる”教育に長年取り組んできた実績があり、その教育方針と展開の仕方（授業など）は、他校の教員にも学べる点が多い。

当日は3時限目に体育館で、PA（プロジェクトアドベンチャー）というゲームを通して心の壁を取り除くプログラムの公開授業を行い、4時限目に中学1年生の5クラスで、3D教育プログラムの公開授業が行われた。テーマは「シンガポールはなぜきれい」（5クラス中2クラスが実施）と、「私の親離れ度（1）」（5クラス中1クラスが実施）で、他の2クラスは同校独自の教材が使用された。

同校はこれまでも何回か、PAのみの公開授業は実施してきたが、3D教育プログラムとPAを同時に公開するのは今回が初めて。不慣れなこともあって、教員など関係者の苦労は多かったようだが見学者にとっては“動”の部分であるPAと、“静”の要素を持つ3D教育プログラムを同じ日に見学できるということで、概ね好評を得た。

なお、プログラムに関しては、学校として年間スケジュールを決めているが、実施時期に関しては担任に一任されている。また、必要に応じて追加のプログラムを実施することもあるようだ。



公開授業でも自然体で授業を

受けている様子が印象的



他校のグループコミュニケーション（以下グルコミ）は何回か見学したことがあるが、中学生、特に1年生くらいの年齢では、集中力が持続せず、落ち着きがない生徒が何人か見られる光景が一般的だ。逆に私語等はほとんど無く、始業時間から終業時間まで静かな場合もあるが、生徒からあまり積極的な意見が聞かれないこともある。

公開授業の場合、日常とは異なるので、どちらかのパターンが強調されるのはやむを得ないかもしれないが当日、私が主に見学した1b（テーマは「私の親離れ度」）は、落ち着きがない生徒はほとんど見られず、グループ単位になってからも、グループ同士で活発な意見交換が行われていた。いわゆる、メリハリのある授業が行われていた。また、公開授業であるにも関わらず、普段通りの自然体で授業を受けている姿も印象的だった。



学年で一斉にグルコミを実施する場合、クラスによって授業態度にバラつきが見られる場合が多いが、当日、他のクラスも見学（わずかな時間だったが）してみたが、どのクラスも同様の授業態度だった。何より、与えられたテーマに対して、意見交換、用紙への記入など、真剣に取り組む姿勢が見られ、プログラムの高い浸透度が感じられた。同時に、学校と教員による熱意が、着実に実を結んでいることを実感させる、公開授業であった。



エゴグラム診断の結果同様に、生徒たちの 「天真爛漫さ」を強く感じる意見が多かった意見交換会

発言が多く活発な授業の様子を

評価する声もあり

当日、公開授業を見学した他校の教員は11名。都内だけでなく、神奈川県や、遠く長野県から来られている方もいた。そのうち、終了後の意見交換会には6名が参加した。交換会は、今回の公開授業成功に向け尽力した、中学1年学年主任・中山正秀教諭の進行によって進められた。

参加者の意見の中には、「グルコミでは生徒は非常に活発に発言し、それを引き出す教員の授業のすすめ方も勉強になった。授業をすすめる上で共通の型があるようで、流れとして非常にスムーズに感じた」（共立女子中学高等学校 教務部副主任 景山誠先生）、「本日見学して、生徒の発言の多さ、用紙に記入する文字量の多さに驚かされた。トキワ松学園さんは、3D教育プログラムを導入し5年間ほどたっているようで、生徒たちの間に、着実にプログラムが浸透していることを実感した」（明星中学高等学校 飯島崇史先生）といった、グルコミに対する感想もあった。

また、長野県から来られた、松商学園高等学校の中川敬介先生は、「授業を見学していて、一番強く感じたのは、生徒自身がプログラムの目的や趣旨を十分理解し、授業に臨んでいるということ。当校の場合、検定を取得させるという目標があるため、道徳の授業などが後回しになることも多いが、今日見学して、心やコミュニケーション能力を育てる授業の重要性を、改めて感じた」と、コメントした。



平日にも関わらず 11名の参加者 を集めた公開授業見学会

参加者の意見を受けて、トキワ松学園中学校高等学校を代表し、丸山明教頭が「今の子どもたちは、我々の子供時代とは比べ物にならないほど、様々な情報に触れる機会があり、それゆえ危険も潜んでいる。子供の心も昔と比べ複雑になっており、彼らを正しく導く教育が必要になっている。だからこそ、今日のような研究会は非常に意味があると思う」と述べた。最後にKA教育代表の菊地淳氏が、「トキワ松学園の生徒さんは、エゴグラム診断の結果を見ても、問題がある生徒が非常に少ない。今日、公開授業を拝見して、改めてそう感じた」と、締めくくった。

全体的に、生徒たちの「素直さ」「天真爛漫さ」を感じる意見や、教員・生徒を含め、プログラムの浸透度の高さを述べる参加者が、多かったように思う。いずれにせよ、平日にも関わらず、11名の参加者を集めることができ、公開授業見学会は大成功だったと言える。



出来る・大丈夫・大成功

KA教育3D研究会
2008.12.03 KA教育3D研究会
公開授業見学会 in トキワ松学園中学校高等学校

株式会社KA教育
〒173-0012
東京都板橋区大和町12-12
03-6784-7675